

潮沢の交通遺産と東山集落の暮らし

信州の交通の変遷史が刻み込まれた多様な道筋と里山の恵みを活かした暮らし・文化

明科地域の北東部に位置する潮沢地区は、篠ノ井線廃線敷のある地区として知られていますが、市内で人口減少が顕著な地域のひとつ。自動車交通が発達する以前は、山々からの恵みを活かし、長野と松本を結ぶ山道を通じて人馬の移動が盛んで、まさに交通の要衝となる山間集落でした。そこには多様な営みと人々の暮らしの物語があり、現在もその痕跡や名残が各所に見られます。



地藏堂(名九鬼)

協定団体：潮沢ロマンの会



岩州の岩場



滝久保トンネル



岩州山(岩州公園)



廃線敷 トンネルとキロポスト



風神祭り

項目	内容
環境の土台 里山	<ul style="list-style-type: none"> ○フォッサマグナの東側に隆起した複雑な地形 ○海底の堆積物由来の肥沃な土壌、すべりやすい地形
物語の 構成要素	<ul style="list-style-type: none"> ○お堂・岩場と山道 <ul style="list-style-type: none"> ・修験者たちの信仰の文化・定住の原点 ○多数の山城 <ul style="list-style-type: none"> ・中世豪族の勢力図の物語 ○肥沃な土地条件が生み出した様々な恵み <ul style="list-style-type: none"> ・たばこ、綿羊、養蚕(の痕跡)＝過去の生活の糧 ・潮沢に69ha存在したといわれるたばこ畑 ○岩州山(潮沢峰通り) <ul style="list-style-type: none"> ・江戸期の善光寺道の裏街道 ・人馬での物流が主流の時代に栄えた山間集落群 ・犀川通船から接続させて山間部へ物を運ぶルート ○篠ノ井線廃線敷・レンガ造の鉄道土木遺産 <ul style="list-style-type: none"> ・明治期の篠ノ井線誘致を推進できた財力、政治力 ・明治期の近代化遺産であるレンガ造のトンネル
産業の関係・ 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○高速交通網の発達とともに衰退 ○里山の人口減少による担い手不足
市民活動等 の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○安曇野市環境行動計画 歩いて楽しいまちづくり ○廃線敷ウォーク ○風神祭り(柏尾集落) 等